

韓國日本語學會 第41・42回 國際學術發表大會

< 主題 >

ICT技術と融合する日本語学研究のフロンティア

< 基調講演 I >

機械翻訳のしくみ、翻訳との違い
藤田篤(国立研究開発法人情報通信研究機構)

< 基調講演 II >

多言語に対応した計量テキスト分析ソフトウェアKH Coder
—アンケート自由回答の分析から言語学的分析まで—
樋口耕一(立命館大)

- ・日時：2020年 9月 19日(土)
- ・場所：漢陽Cyber大 學校 HIT 310號
(ZOOMを利用したオンライン學術大會)
- ・主催：韓國日本語學會, 漢陽Cyber大 學校, 韓國日本語研究會,
日韓コミュニケーション研究会, 韓國OPI研究会
- ・主管：韓國日本語學會
- ・後援：漢陽Cyber大 學校 産學協力團, JAPAN FOUNDATION SEOUL,
時事日本語社



韓國日本語學會
The Japanese Language Association of Korea

韓國日本語學會

第41・42回 國際學術發表大會

- 日時：2020年 9月 19日(土)
- 場所：漢陽Cyber大 學校 HIT 310號
(ZOOMを利用したオンライン學術大會)

< Program >

12:00-12:10	<ul style="list-style-type: none"> ・開會式 <司會：孫榮爽(濟州大)> 開會辭：黃永熙 會長(漢陽Cyber大) 祝 辭：加藤 剛 所長 (日本國際交流基金Seoul文化Center) 		各發表場のURLは 學會ホームページ に揭示 http://www.jlak.or.kr
12:10-14:50	<ul style="list-style-type: none"> ・一般發表 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1發表會場 ・第2發表會場 ・第3發表會場 ・第4發表會場 	
14:50-15:00	休息		
15:00-15:10	<ul style="list-style-type: none"> ・研究倫理講演 <司會：朴江訓(全州大)> 盧姓鉉(德成女大) 		
15:10-15:50	<ul style="list-style-type: none"> ・基調講演 I <司會：孫榮爽(濟州大)> 藤田 篤(国立研究開発法人情報通信研究機構) 		
15:50-16:30	<ul style="list-style-type: none"> ・基調講演 II <司會：孫榮爽(濟州大)> 樋口耕一(立命館大) 		
16:30-16:50	<ul style="list-style-type: none"> ・総合討論 討論：李朱利愛(梨花女大) 張元哉(啓明大) 		
16:50-17:00	休息		
17:00-18:40	<ul style="list-style-type: none"> ・企画發表 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1發表會場 ・第2發表會場 ・第3發表會場 ・第4發表會場 ・第5發表會場 	
18:40	閉會		

〈研究倫理講演〉

15:00-15:10

司會: 朴江訓(全州大)

연구자를 위한 연구윤리교육
研究者のための研究倫理教育

盧姪鉉(德成女大)

〈基調講演 I〉

15:10-15:50

司會: 孫榮爽(濟州大)

機械翻訳のしくみ、翻訳との違い

藤田 篤(国立研究開発法人情報通信研究機構)

〈基調講演 II〉

15:50-16:30

司會: 孫榮爽(濟州大)

多言語に対応した計量テキスト分析ソフトウェア KH Coder
—アンケート自由回答の分析から言語学的分析まで—

樋口耕一(立命館大)

〈一般発表〉

第1発表会場

■ 文法・語彙

座長: 鄭相哲(韓國外大)

時間	発表者	主題	発表言語	討論者	司會者
12:10-12:50	朴鍾升 (江陵原州大)	「~になる」와 「~となる」의 차이 -코퍼스를 기반으로- 「~になる」と「~となる」の違い -コーパスをベースにして	韓	方允炯 (水原大) 李受香 (嘉泉大)	權城 (Hanbat大)
12:50-13:30	坂口清香 (國民大)	重複表現『~化になる』に関する考察	日	林禎映 (全南大) 伊藤沙智子 (韓國外大)	文彰鶴 (韓國外大)
13:30-14:10	金良宣 (嶺南大)	문장체에서의 「そして」의 의미분석 -한국어 대응을 중심으로- 文章体での「そして」の意味分析 -韓国語との対応を中心に-	韓	全紫蓮 (慶尙大) 殷守希 (淑明女大)	趙宣映 (仁川大)
14:10-14:50	落合由治 (淡江大)	テキストマイニングから見た 質的日本語研究の可能性	日	鄭賢兒 (西京大) 李忠奎 (西原大)	南得鉉 (明知專門大)
14:50-15:00	休息				
15:00-15:10	研究倫理講演				
15:10-15:50	基調講演 I				
15:50-16:30	基調講演 II				
16:30-16:50	総合討論				
16:50-17:00	休息				

第2発表会場

社会言語学

座長: 洪珉杓(啓明大)

時間	発表者	主題	発表言語	討論者	司會者
12:10-12:50	橋谷萌賀 申憲慧 金昭晝 (高麗大)	芸能人の授賞式に見られる「ほめ」の返答の日韓比較	日	張良光 (Catholic大) 岩井朝乃 (弘益大)	李恩美 (明知大)
12:50-13:30	李受美 (高麗大)	한·일 비즈니스 드라마에서 나타나는 의뢰 표현 형식별 대조연구 韓日ビジネスドラマで現れる依頼表現の形式別に関する対照研究	韓	持田祐美子 (平澤大) 鄭榮美 (韓國觀光大)	林始恩 (Seoul市立大)
13:30-14:10	金嚙泳 (同徳女大)	現代日本語の「打ち言葉」の定義と特徴 - 「Twitter」のクローリングによる「打ち言葉」の分析と共に -	日	金鍾完 (江原大) 鄭盛旭 (中央大)	郭銀心 (京畿大)
14:10-14:50	久屋愛実 (福岡女学院大)	広報紙等における英語語彙の運用に関する自治体の意識	日	申佼珍 (白石藝大) 李奎台 (東京外語大)	金修卿 (韓國外大)
14:50-15:00	休息				
15:00-15:10	研究倫理講演				
15:10-15:50	基調講演 I				
15:50-16:30	基調講演 II				
16:30-16:50	総合討論				
16:50-17:00	休息				

第3発表会場

韓日対照と教育

座長: 趙大夏(Seoul女大)

時間	発表者	主題	発表言語	討論者	司會者
12:10-12:50	李海湊 (慶熙大)	‘국가’의 말 -한일 코로나 위기 대처를 중심으로- ‘国家のことば’ -韓日コロナ危機への対処を中心に-	韓	尹京愛 (嶺南大) 小松義貴 (Seoul大)	宋淑正 (中源大)
12:50-13:30	任炫樹 (帝塚山学院大)	韓日の対人コミュニケーションにおける身体接触行動の一考察 -ドラマ『グッド・ドクター』(日韓版)を資料として-	日	盧姪鉉 (徳成女大) 宋殷美 (白石藝大)	金義泳 (Hanbat大)
13:30-14:10	住田哲郎 (京都精華大)	マンガ翻訳に見る日韓両言語の翻訳不可能性	日	張惠先 (鮮文大) 崔少榮 (韓國外大)	李禮安 (濟州大)
14:10-14:50	柳原恵津子 (国立国語研究所)	平安時代漢文日記における和化漢文の学習過程について -藤原忠実『殿暦』の漢字仮名交じり表記文を例に-	日	飯干和也 (祥明大) 具明會 (韓國科學技術院)	崔貞姬 (白石文化大)
14:50-15:00	休息				
15:00-15:10	研究倫理講演				
15:10-15:50	基調講演 I				
15:50-16:30	基調講演 II				
16:30-16:50	総合討論				
16:50-17:00	休息				

第4発表会場

日本語教育

座長: 関光準(建國大)

時間	発表者	主題	発表言語	討論者	司會者
12:10-12:50	任ジエヒ (立教大) 野田尚史 (国立国語研究所)	韓国語を母語とする日本語学習者の読解における推測ストラテジー	日	相澤由佳 (聖潔大) 本多美保 (梨花女大)	朴京愛 (建國大)
12:50-13:30	千仙永 (東京大)	アクセントの実践的な学びによる日本語教師の意識変化	日	房賢嬉 (東北学院大) 李敬淑 (亞洲大)	金志宣 (梨花女大)
13:30-14:10	及川ひろ絵 (弘益大) 尹熙子 (韓国外大)	継承日本語教育における歴史教育の必要性 - 「朝鮮通信使」をテーマとした活動実践を中心に -	日	寺田康平 (弘益大) 趙恩英 (釜山外大)	成玟姮 (祥明大)
14:10-14:50	恩塚千代 (大阪体育大学浪商) 森口総 (京都外語大) 王崗 (深川大) 鄭惠先 (北海道大)	十分な見出し語数を有する学習者向け 日韓辞典のコンセプト提案	日	檢校裕朗 (極東大) 劉諱音 (Catholic關東大)	張根壽 (祥明大)
14:50-15:00	休息				
15:00-15:10	研究倫理講演				
15:10-15:50	基調講演 I				
15:50-16:30	基調講演 II				
16:30-16:50	総合討論				
16:50-17:00	休息				

〈企劃発表〉

第1発表会場

言語景観<人,地域,国の融合を目指して>

座長: 朴才煥(京畿大)

時間	発表者	主題	発表言語	討論者	司會者
17:00-18:40	李慈鎬 (慶北大)	日本関連飲食店のネーミング -3個所の大学周辺の調査-	日	助川泰彦 (東京国際大) 今村圭介 (東京医科歯科大) 斎藤敬太 (津田塾大)	李舜炯 (慶北大)
	李舜炯 李賢貞 (慶北大)	日韓隣接地域における言語景観の 言語接触研究	日		
	Daniel Long (東京都立大)	北海道における文化的観光資源としての言語 -言語景観で活用される北海道方言とアイヌ語-	日		
	李承珉 孫美貞 (慶北大)	言語景観に見るオーバーツーリズム	日		
	磯野英治 (名古屋商科大)	言語景観の教材化と教育実践 -ビデオ教材・教科書の活用について-	日		

第2発表会場

データマイニング

座長: 李範錫(Catholic大)

時間	発表者	主題	発表言語	討論者	司會者
17:00-18:40	李竣瑞 (聖潔大)	빅데이터 기반 다중언어 문화이미지 프레임망 구축구상 빅데이터基盤多重言語文化イメージの フレーム網構築構想	韓	尹榮民 (延世大) 申雄哲 (慶星大)	李竣瑞 (聖潔大)
	金惠娟 (聖潔大)				
	伊有貞 (京畿大)				
	盧雄基 (嘉泉大) 韓京洙 (聖潔大)				

第3発表会場

■ 日韓コミュニケーション研究会/韓国OPI研究会 座長:金玉任(誠信女大)

時間	発表者	主題	発表言語	討論者	司會者
17:00-18:40	渋谷雅平 (立命館Asia太平洋大)	大学の日本語教育における ラーニングブリッジの必要性 - 韓国人留学生を対象に -	日	朱明淑 (高麗大)	中島忍 (大邱Catholic大)
	藤田智彦 (国際交流基金 Seoul日本文化Center)	韓国人中等日本語教師と日本語ネイティブ とのエクステンジスタディ-の試み	日	小松奈々 (高麗大)	
	川口慶子 (崇實大) 小島堅嗣 (培材大) 後藤歩 (Hanbat大) 迫田亜希子 (明知大)	韓国におけるACTFL-OPIに関する 研究の動向	日	持田祐美子 (平澤大)	

第4発表会場

■ 韓国日本語研究会 <新進研究者博士學位論文発表> 全體司會:姜錫祐(Catholic大)

時間	発表者	主題	発表言語	討論者	司會者
17:00-17:40	権権玲 (高麗大)	日本語における主観性及び間主観性の考察 - 省略と明示を対象として -	日	金廷珉 (亞細亞大)	朴江訓 (全州大)
17:40-18:20	指定討論及び自由討論				

第5発表会場

■ 日本語教育実践 座長:李暉洙(放送大)

時間	発表者	主題	発表言語	討論者	司會者
17:00-18:40	金蘭美 (横浜国立大)	作文支援システムで必要な「支援」について - メール文に焦点を当てて -	日	中村有里 (仁川大)	金玄珠 (Hanbat大)
	橋本直幸 (福岡女子大)	日本語教科書読み物データベースと 話題別多読システムの構築に向けて	日		
	金庭久美子 (立教大)	日本語学習支援システムの変遷と展望	日		

国立国語研究所 第37回NINJALチュートリアル

NINJALチュートリアルとは、日本語学・言語学・日本語教育研究の諸分野における最新の研究成果や研究方法を若手研究者等に教授するプログラムです。
今回は、「日本語学習者の作文の研究方法」「コーパスを活用した日常会話の研究」について教授します。

【開催日時】2020年10月10日(土) 10月11日(日) 10:00-17:50

【会場】ウェブ開催

【定員】100名(予定・先着順)

【受講料】無料

【受講対象】大学院生および日本語教師・講師・教授、大学院進学を目指す学部生(他注) 特に大学院生の方はぜひご参加ください。

【参加申込】こちらからお申し込みください。 <https://jis.gd/mBnovh>

※ご登録の氏名は英語または漢字・カナでの記入をお願いいたします。



◆10月10日(土)

「日本語学習者の作文の研究方法」

- (1)日本語学習者の作文コーパスの構築と分析方法
- (2)日本語学習者の作文執筆のプロセスの分析方法
- (3)ピア・レスポンス授業における推敲作文の分析方法
- (4)ピア・レスポンス授業の話し合いの談話の分析方法

◆10月11日(日)

「コーパスを活用した日常会話の研究」

- (1)話し言葉の研究とコーパス
- (2)日常会話コーパスの分析法
- (3)コーパスを活用して日常会話の特徴を調べる
- (4)書き言葉コーパスと比較して日常会話の特徴を調べる

講師

石黒 圭

国立国語研究所 教授 (日本語教育研究領域)



一橋大学国際教育センター・言語社会研究科教授を経て、2015年から現職。2015年より一橋大学大学院言語社会研究科連携教授。専門は文章論。主な著書は『文脈情報を用いた文章理解過程の実証的研究-学習者の母語から捉えた日本語理解の姿-』(編著、ひつじ書房、2020)、『段落論-日本語の「わかりやすさ」の決め手-』(光文社、2020)、『豊かな語彙力を育てる「言葉の態度を高める教育」へのヒント』(コ出版、2018)など。

講師

小磯 花絵

国立国語研究所 教授 (音声言語研究領域)



独立行政法人国立国語研究所研究員を経て、2009年から現職。2015年より一橋大学大学院言語社会研究科連携教授。専門はコーパス言語学・談話分析。『日本語話し言葉コーパス』『現代日本語書き言葉均衡コーパス』の構築に携わり、現在は『日本語日常会話コーパス』の構築に取り組む。主な著書は『講座日本語コーパス 話し言葉コーパス-設計と構築-』(編著、朝倉書店、2015)など。

お問い合わせ: 韓国日本語教育学会 事務局

極東大学校 日本文化観光コンテンツ学科 検校裕朗 教授 研究室

〒27601 忠清北道 陰城郡 甘谷面 大学路 76-32

H.P : 010・6431・8910(事務理事:朴京愛) 010・5034・2083(事務理事:伊藤沙智子)

Mail : tutorial.kaje@gmail.com